



週間情報



No.0719

発行日 令和7年5月27日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 第121回全国消防長会予防委員会を開催

全国消防長会予防委員会

令和7年5月13日（火）、兵庫県姫路市（ホテルモントレ姫路）において、第121回全国消防長会予防委員会を開催しました。会議の議事等は、次のとおりです。

【議題】

- 1 防火対象物点検資格者等の不適正点検に対する対応について
- 2 七輪等の火気器具上部に設置される排気ダクト等を規制対象とした、対象火気省令等への条文の追記の要望について
- 3 予防委員会の開催方法及び次期開催地について

【情報交換】

- 1 感震ブレーカーの普及推進に関する取組み状況について
- 2 高齢者家庭への防火指導について
- 3 簡易型ガスこんろ（カセット型）に関する火災予防啓発や関係団体への働きかけについて
- 4 防火対象物（含事業所）使用廃止情報の必要性について
- 5 泡消火薬剤の混合使用について
- 6 建築基準法第93条第4項に係る通知について
- 7 特定一階段等防火対象物における階段の防火区画未形成に係る違反処理（命令）について

【情報提供】

- 1 七輪等の火気器具の上部に設置される排気ダクトの設置に係る技術基準の策定について
- 2 消防用設備等の設置単位について
- 3 排煙設備の特例基準化および基準の見直しについて
- 4 消防研究センターの体制と事業概要について
- 5 日本消防検定協会の業務紹介等
- 6 日本火災報知機工業会の取組みについて
- 7 防災製品「堤灯」の設定開始等について
- 8 一般財団法人日本消防設備安全センターからのお知らせ
- 9 令和7年度石油機器技術管理講習等の実施要領と広報のお願いについて
- 10 令和7年度住宅防火対策推進協議会の事業概要等について
- 11 一般財団法人消防防災科学センターの事業取組状況について
- 12 一般財団法人日本ガス機器検査協会からのお知らせ
- 13 第64回火災科学セミナーの開催について

【消防庁講話】

予防行政（課題と対応）



【委員長挨拶】



【委員会の様子】

◆ 第82回全国消防長会救急委員会を開催

全国消防長会救急委員会

令和7年5月14日（水）、福島県西白河郡（東京第一ホテル新白河）において、第82回全国消防長会救急委員会を開催しました。会議の議題などは、次のとおりです。

【報告事項】

- 1 第81回全国消防長会救急委員会以降の委員異動及び副委員長・常任委員の選出について
- 2 「令和7年度救急車適正利用PRポスター」の審査結果について

【審議事項】

第83回全国消防長会救急委員会の開催地について

【情報交換】

- 1 心肺蘇生等を希望しない傷病者への対応について
- 2 転院搬送ガイドラインの策定状況について
- 3 自本部での救急事案に係る署内検証方法について
- 4 患者等搬送事業の運営について

【情報提供】

- 1 消防研究センターの体制と事業概要について
- 2 救急振興財団の事業等について



【委員長挨拶】



【委員会の様子】

◆ 第103回全国消防長会技術委員会を開催

全国消防長会技術委員会

令和7年5月15日（木）、福岡県北九州市（ホテルクラウンパレス小倉）において、第103回全国消防長会技術委員会を開催しました。会議の議題等は、次のとおりです。

【報告事項】

令和6年度事業結果報告について

【議題】

- 1 第104回全国消防長会技術委員会の開催地について
- 2 第105回全国消防長会技術委員会の開催支部について

【情報交換】

- 1 不用になった消防車両の基本的な処分方法について
- 2 物価高騰による車両価格上昇への対策について
- 3 資機材の軽量・コンパクト化や電動化など、新しい技術を取り入れた資機材の導入や検討について

【情報提供】

- 1 消火活動用ドローン開発・実装に向けた推進事業について
- 2 ISO/TC94/SC14 国内審議委員会及び国際会議の動向と防火服等自主管理制度の紹介
- 3 「消防士の有害物質曝露に関する基礎的調査と適切な予防措置に関する研究」への協力について
- 4 消防車シャシ遅延状況と複数年契約等について
保安基準の改正について
- 5 消防庁防災情報室における昨今の取組等について
最新の消防情勢
技術戦略室の設置について
- 6 消防研究センターの体制と事業概要について
- 7 一般財団法人日本消防設備安全センターの業務紹介
- 8 日本消防検定協会の業務紹介



【委員長挨拶】



【委員会の様子】

◆ 第41回全国消防長会警防防災委員会を開催

全国消防長会警防防災委員会

令和7年5月15日(木)、千葉県成田市(マロウドインターナショナルホテル成田)において、第41回全国消防長会警防防災委員会を開催しました。会議の議題等は、次のとおりです。

【議題】

- 1 副委員長の選任について
- 2 第53回全国消防救助技術大会の審判長及び審判部長の推薦について

【情報交換】

- 1 警防活動時等の安全管理教育について
- 2 先着小隊長及び中隊長を対象とした警防訓練について
- 3 緊急消防援助隊安全管理部隊の運用について
- 4 市町災害対策本部等へ出向する職員の活動について
- 5 消防本部及び消防署(所)間における図上訓練の実施状況等について
- 6 私有地に設置された所有者が不明確な防火水槽の維持管理等(撤去を含む)について
- 7 夜間における山岳救助活動について
- 8 震災時の消防活動計画等

【情報提供】

- 1 最新の消防情勢について
- 2 「令和6年度救助技術の高度化等検討会報告書」及び「土砂災害時における消防機関の救助活動マニュアル」の公表について
- 3 全国消防救助技術大会安全管理体制の強化にかかる検討経過について
- 4 地下鉄サリン事件30年目を踏まえた取組について
- 5 大阪・関西万博 消防体制について
- 6 葵消防署管内建物火災事故について
- 7 消防研究センターの体制と事業概要について
- 8 消防広域化や少子高齢化社会到来に向けた消防力適正配置等調査の活用
- 9 一般財団法人日本消防設備安全センターからのお知らせ

【その他】

次期開催地について



【委員会の様子】

消 防 本 部 の 動 き

行 事

◆ 「安全・安心確保に関する包括的連携協定」を締結

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局は、令和7年5月9日（金）、首里城公園首里杜館において、一般財団法人沖縄美ら島財団と「安全・安心確保に関する包括的連携協定」を締結しました。

この協定は、首里城で発生した火災の教訓を踏まえ、首里城公園における火災や事故などの非常事態に対応した連携協力体制の強化を図るとともに、防災体制の構築に向けて安全・安心な公園管理に資することを目的として締結したものです。

今後も連携を深め、安全・安心な地域づくりに寄与してまいります。



【締結式の様子】



【火災訓練の様子】

訓 練

◆ 消防技術錬成訓練効果測定を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和7年5月5日（月）、中消防署において、消防技術錬成訓練効果測定を実施しました。

この訓練は、採用後5年未満の職員を対象に、個人装備の着装要領、ロープ基本結索要領、三連梯子操作要領などの基本手技の底上げを図ることを目的として、毎月実施しているものです。

当日は、5人の職員が参加し、日ごろの訓練成果を存分に発揮しました。



【効果測定の様子】

そ の 他

◆ 消防功労者に感謝状を贈呈

宮津与謝消防組合消防本部（京都）

宮津与謝消防組合消防本部では、令和7年5月12日（月）、3事案の消防功労者5人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

1事案目は、令和6年4月20日（土）に発生した救急事案において、心肺停止となった傷病者に対して、消防功労者の2人が連携し、救命活動を実施したものです。

2事案目は、令和7年4月9日（水）に発生した火災において、消防功労者の2人が連携し、迅速な初期消火を行い、付近の建物および山林への延焼拡大を未然に防止したものです。

3事案目は、令和7年4月12日（土）に発生した火災において、迅速な初期消火を行い、付近の山林への延焼拡大を未然に防止したものです。

消防功労者5人の勇気ある行動と迅速かつ的確な判断により、傷病者の救命および火災の延焼防止に大いに貢献されました。



【贈呈式の様子】



【贈呈式後の記念撮影】

◆ 救急救命功労者に感謝状を贈呈

防府市消防本部（山口）

防府市消防本部では、令和7年5月12日（月）、救急救命功労者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年3月24日（月）に発生した救急事案において、歩道上に倒れ心肺停止となった男性に対して、通り掛かった功労者の2人が協力し、119番通報と胸骨圧迫を行い、救急隊に引き継いだものです。

男性は、功労者2人の迅速な判断と行動により、社会復帰しました。



【贈呈式後の記念撮影】

◆ 「署救急活動訓練効果確認」に併せて業務説明会を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁玉川消防署では、令和7年5月1日（木）、2日（金）の2日間、「署救急活動訓練効果確認」に併せて業務説明会を実施しました。

この説明会は、消防活動への理解を深めていただくとともに、入庁後のイメージをより明確にさせていただくことを目的として実施したものです。

当日は、普段から交流がある病院関係者、関係団体、消防職員を目指す救命学科に通う学生を招待し、同効果確認を見学していただいた後に、学生に対して、当庁の経験が浅い職員が業務説明会を行い、採用試験、入庁後の生活、資格に関することなどについて説明し、活発に意見交換をすることができました。

参加した学生からは、「組織立った活動や迅速・的確な活動がとても印象的で、現場の雰囲気を学ぶことができました。」との意見を聞くことができました。



【署救急活動訓練効果確認の様子】



【業務説明会の様子】

◆ 温泉街で火災予防に関する注意喚起を実施

安達地方広域行政組合消防本部（福島）

安達地方広域行政組合消防本部では、令和7年5月7日（水）、管内の温泉街において火災予防に関する注意喚起を実施しました。

この取り組みは、同年5月5日（月）に兵庫県内の温泉街で発生した建物火災を受け、類似火災の発生を防止することを目的として実施したものです。

当日は、平安時代から続く、歴史ある「岳温泉」の旅館事業者および観光協会に対し、電気器具からの出火や漏電などに注意していただくためのチラシを配布しました。

今後も、市民の安全・安心な暮らしを守るため、火災予防に努めてまいります。



【注意喚起の様子】

消防庁通知等

◆ 危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令等の公布について

(消防危第96号、令和7年5月14日)

消防庁次長から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令（令和7年政令第191号。以下「改正政令」という。）、危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（令和7年総務省令第49号。以下「改正省令」という。）及び危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示の一部を改正する件（令和7年総務省告示第161号。以下「改正告示」という。）が令和7年5月14日に公布されました。

貴職におかれましては、下記事項に留意の上、その運用に十分配慮されるとともに、各都道府県知事におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても、この旨周知されるようお願いします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/e361e46b2532df6f6911b3e399dd73a332c7a1bd.pdf>) に掲載されています。

(連絡先)

消防庁危険物保安室

石野、鈴木

T E L 03-5253-7524

E-mail : fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

報道発表

◆ 消防防災科学技術研究推進制度の令和7年度緊急枠研究開発課題の募集

(令和7年5月14日、消防庁)

消防庁では、消防防災分野における課題解決や重要施策推進に資するため、消防防災科学技術研究推進制度（競争的研究費）により研究開発を推進しています。

令和7年2月26日に大船渡市において発生した林野火災を踏まえ、林野火災に活用できる技術の研究開発を緊急枠として募集しますので、公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/ab49d789c2ec0b049cf33498b0280b659b9c1e15.pdf>) に掲載されています。

< 担当 >

消防庁技術戦略室

中嶋 ・ 西田 ・ 岩井・佐々木

Tel : 03-5253-7541

Mail : gisei2_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を

「_atmark_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令（案）等に対する意見公募の結果及び改正政令等の公布

（令和 7 年 5 月 1 4 日、消防庁）

消防庁は、危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令（案）の内容については令和 6 年 12 月 12 日から令和 7 年 1 月 15 日までの間、危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（案）等については令和 7 年 3 月 13 日から令和 7 年 4 月 11 日までの間、国民の皆様から広く意見を公募したところ、前者は 8 件、後者は 5 件の意見の提出がありました。この結果を踏まえて、本日、危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令等を公布しましたのでお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/a604cf1129b7f5b63ee78b9edc477d37d025c09d.pdf>）に掲載されています。

（事務連絡先）

消防庁予防課危険物保安室 石野、鈴木

TEL 03-5253-7524（直通）

E-mail: fdma.hoanshitsu_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

◆ 第 9 回予防業務優良事例表彰の受賞団体の決定

（令和 7 年 5 月 2 3 日、消防庁）

消防庁では、各消防本部の予防業務（危険物に関する業務を含む。）の取組のうち、他団体の模範となる優れたものについて表彰し、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を広く周知し予防部門のモチベーション向上を図るとともに、各消防本部の業務改善に資することを目的とする「予防業務優良事例表彰」を平成 2 8 年度に創設しました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/250530_yobou_1.pdf）に掲載されています。

（事務連絡先）

消防庁予防課 佐藤主幹、城取

TEL 03-5253-7523（直通）

メール yobo_atmark_soumu.go.jp

（注）迷惑メール防止のため、メールアドレスの一部を変えています。「_atmark_」を「@」に置き換えてください。

情報提供

◆ 令和7年度「防災啓発中央研修会（前期）」の受講者募集について

一般財団法人消防防災科学センター

一般財団法人消防防災科学センターでは、令和7年度「防災啓発中央研修会（前期）」の受講者を募集します。多数のご参加をお待ちしております。

- 1 開催日時
令和7年7月1日（火）13時00分～16時00分
- 2 開催方式
オンライン開催（Zoomによる。Zoomアプリの登録は不要。）
- 3 主催
一般財団法人消防防災科学センター（後援：総務省消防庁）
- 4 対象者
都道府県、市町村および消防本部などの職員、一般住民
- 5 受講者数
800人（定員）
- 6 受講料
無料
- 7 申込方法
受講を希望される方は、市町村防災研修ホームページ
(https://www.bousai-kensyu.com/chuo_oubo/) から事前にお申込みください。
お申込み直後には、登録時のメールアドレスに「申込完了」メールが届き、開催当日までに「研修視聴用URL」メールが届きます。
- 8 プログラム
 - (1) 13時10分～14時00分
「南海トラフ巨大地震に備え、命を守る」
名古屋大学名誉教授 福和 伸夫
 - (2) 14時10分～15時00分
「防災DXの現状と課題」
総務省消防庁国民保護・防災部防災情報室長 西室 洋介
 - (3) 15時10分～16時00分
「豪雨災害（洪水・土砂災害）に備え、命を守る～最近の豪雨災害の事例から」
静岡大学防災総合センター教授・副センター長 牛山 素行※都合により、講師・題名などが変更となる場合があります。

一般財団法人 消防防災科学センター	
中央研修会担当	小太刀俊雄
TEL	0422-24-7803
E-mail	kodachi@isad.or.jp

◆ 令和7年度予防技術講習会の開催案内

主催：日本消防検定協会
協賛：一般社団法人全国消防機器協会

1 東京会場

開催日 令和7年7月18日（金） 13時30分～17時00分
場 所 アルカディア市ヶ谷 富士の間（3階）

2 大阪会場

開催日 令和7年7月11日（金） 13時30分～17時00分
場 所 TKPガーデンシティPREMIUM 心斎橋 バンケット3A（3階）

3 プログラム（案）

時 間	講演内容	講 師
13時30分～13時40分	挨拶	日本消防検定協会理事長
13時40分～13時50分	挨拶（東京会場のみ）	総務省消防庁予防課長
13時50分～14時10分	感震ブレーカーについて	総務省消防庁予防課担当官
14時10分～14時50分	予防行政の動向（その1） 住宅防火対策の推進等	総務省消防庁予防課担当官
14時50分～15時10分	検定業務等に関する情報提供	日本消防検定協会担当者
15時10分～15時20分	休憩	
15時20分～16時05分	予防行政の動向（その2） 違反是正及び防火管理制度関係	総務省消防庁予防課担当官
16時05分～16時15分	休憩	
16時15分～17時00分	予防行政の動向（その3） 消防用設備等に係る技術基準関係	総務省消防庁予防課担当官

4 対象者

消防本部など（都道府県を含む。）において、主に予防事務に従事されている職員の皆さまを対象とします。

5 参加費用

受講料は、無料です。

※ 交通費、宿泊費などは、ご負担をお願いします。

6 定員

東京会場300人、大阪会場300人

7 申込方法など

予防技術講習会のご案内は、一般社団法人全国消防機器協会ホームページに掲載しています。
(<https://www.nfes.or.jp>)

※ 受講申込は、一般社団法人全国消防機器協会に6月27日（金）までをお願いします。

※ 予防技術講習会終了後に「予防技術情報交換会」を開催し、受講者の皆さまと講師、関係者などとの交流を図ることとしております。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 児嶋

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。